

者は、幾ら指名願を出しても入れてもらえないと不満の声を聞いた。また、業者の中には過去に名義貸しをしたり、暴力団と関係があるとうわさされている。そういう業者は、調査し排除するように願いたい。新総社市誕生を契機に市外業者は指名せず、地元業者の育成を図るためにも、今後市内業者を指名してはどうか。

また、今年度の建設工事等は年間どの程度予定しているのか。過去の旧総社市の落札率はどの程度なのか。

**答** 指名の件については、公平公正に努めていくし、暴力団関係の企業については、一切指名せず毅然とした態度で臨む。公共工事の発注は、業者育成の上からも市内業者優先の方針で以前から取り組んでいる。大規模あるいは技術的に高度な工事は、共同請負制度、JV方式を活用し市内業者の施工技術の習得と育成を図り、今後もその方針を進めていく。建設事業費は、普通会計で27億3000万円程度で、落札率は平成16年度分で設計額に対して91

・17%である。

### 吉澤 威人

#### 子育て支援について

**問** 子どもの医療費無料化を総社市は6歳から就学前までに引き上げているが、中学校卒業までの無料化の計画はないか。また、若い人が子育てしやすいまちづくりを実現するために小児医療の充実、専門医の確保、緊急時の対応ができる緊急医療施設の早期実現はできるのか。

**答** 子どもの医療費無料化は、来年度から一学年ずつ引き上げていきたいと考えているが、市の財政状況の動向も考慮しながら計画を進めていきたい。小児医療の充実、救急時の対応は、小児科専門医療機関は2ヶ所で休祭日の診察は限られている。今、先進地の視察やアクセス道路の整備の問題等、救急医療拠点整備の早期実現に向け進んでいる。

#### 学校教育の取り組みについて

**問** 最近は全く予想もしない、見当もつかない狙われた犯罪が多発している。安全、安心の環境づくりをするためPTAとの連携と地域ぐるみの共同参加が必要ではないか。また、教育施設の老朽化による建物の安全性は大丈夫なのか。全国各地で地震が発生し被害がでているが、事故を未然

に防ぐよう耐震診断の取り組みが必要ではないか。子どもの安全を確保することは学校の基本であるが、学校のみでの対応は限界がある。PTAや地域との連携は重要で教職員、保護者、地域の方が登下校を見守るなど、また、学校支援ボランティアなど早急に組織を充実させていきたい。耐震診断は、学校が避難施設という機能もあり診断については積極的に対応していきたい。

**答** 子どもの安全を確保することは学校の基本であるが、学校のみでの対応は限界がある。PTAや地域との連携は重要で教職員、保護者、地域の方が登下校を見守るなど、また、学校支援ボランティアなど早急に組織を充実させていきたい。耐震診断は、学校が避難施設という機能もあり診断については積極的に対応していきたい。

### 蒔江 文男

#### まちづくりについて

**問** 人が変わっていくように、まちも変わり未来の総社市をどんなまちにしていくのか、市民の皆さんとともに新しいまちづくりを考える必要がある。そこで、新しいC-1の手法を取り入れてはどうか。また、さまざまな地域が新しい分野の発信を進めていく中でいち早く総社市のイメージアップを行なうために、行政としてどのように進めていくのか。

**答** 合併を機会に新総社市として誇れるものを広く対外的にアピールし、特徴ある地域を目指すとともに、本物志向をモットーに掲げ、キーワードによるまちづくりを発信していきたい。本物を求めたいのわかに来ていたただけるそんなまちづくりを進め、全市民的なバランスある発展に配慮しながら血の通った施策の展開を進めたい。



急務な耐震診断が必要な小学校